

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年6月28日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	海南下津まちづくり協議会			代表者名	一木謙吾
担当者部署	なし			連絡先電話番号	090-1079-2061
担当者役職	代表	担当者氏名	一木謙吾	連絡先E-mail	
住所	649-0164 和歌山県海南市下津町上292				

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	海南市	連絡先部署	管財情報課		
担当者氏名	南出直哉	連絡先電話番号	073-483-8468	連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	細川 哲星
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	地域の情報を積極的にインプットし、地域に即した親身のアドバイスがあったこと
アドバイザーへの要望事項	事前にもう少し打ち合わせをした方がよかったと感じた(アドバイザーへの要望というより制度活用のこと)。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年6月24日	10時00分	16時00分	60	300
3-2. 派遣場所	会場名	海南市内及び近郊の観光地		最寄駅	海南駅
	所在地	海南市及び和歌山市		最寄駅からの交通手段	海南市公用車
	派遣形態	支援・助言(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	協議会員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	他地域と比べた海南市の観光資源に関する魅力の発信精度など	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	地域の客観的な課題の発見と、他地域と比べた相対的評価	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	他地域と比べた相対的評価と、力を入れるべきポイント	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	経済導線の作り方と、地域創生としての周りの人々の巻き込み方、そしてその活動のきっかけ作りになったこと	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 視察中心のため実施せず	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

